

アウトドアスポーツを楽しむ方対象

気候変動意識調査

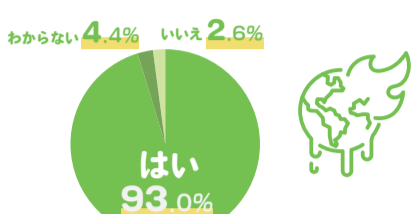
スキーヤーやスノーボーダー、アウトドアスポーツを楽しむ方を対象に、「気候変動問題とその解決に向けた行動」に関する意識調査を目的としたアンケートを実施しました。ご協力くださったみなさま、ありがとうございました。
2,000件近く集まった回答からは、9割近くの方が気候変動の影響を実感し、その多くがこの問題に関心を持って、実際に行動をしている、あるいは行動をしたいと積極的に考えていることがわかりました。
スノーコミュニティは気候変動問題に対する関心がとても高く、その解決に向けた行動にも非常に強い意志をもつコミュニティであることがわかります。
「社会の仕組み」に対してその変化を後押しするために「声を届ける」ことについては、これからその土壌を作りあげていく必要がある一方、気候変動対策やサステナブルな取り組みを積極的に実践するスキー場への関心は高く、スキー場を応援したいスキーヤー・スノーボーダーが多いことが明らかになりました。



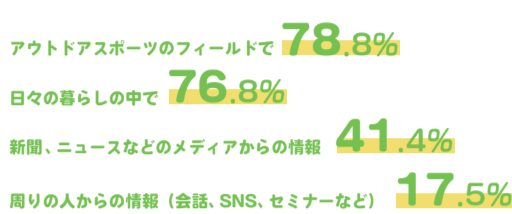
気候変動問題に対する意識

90%以上の方が気候変動の影響を実感しており、そのほとんどがメディア等の外部からの情報ではなく、アウトドアフィールドや日々の暮らしなどでその影響を実感しています。また、気候変動の影響は、自分よりも「海外の人々」や「将来世代」に「大きな影響を及ぼす」と考えている人が多いことがわかりました。

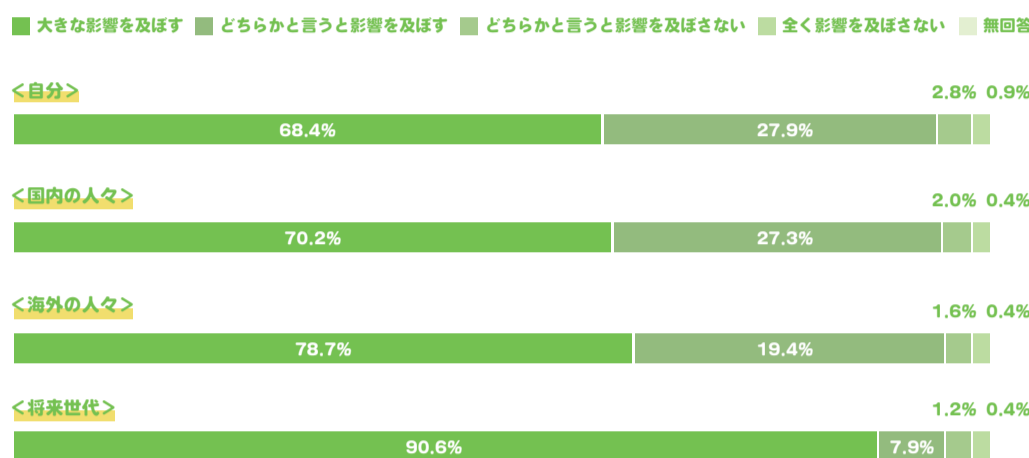
Q 気候変動の影響を実感していますか？



Q 気候変動の影響を何で / どこで実感していますか？



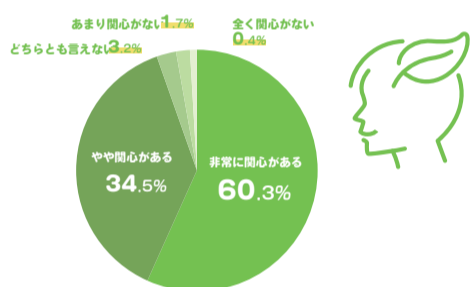
Q 気候変動は「自分」「国内の人々」「海外の人々」「将来世代」それぞれに対して、どの程度の影響を及ぼすと思いますか？



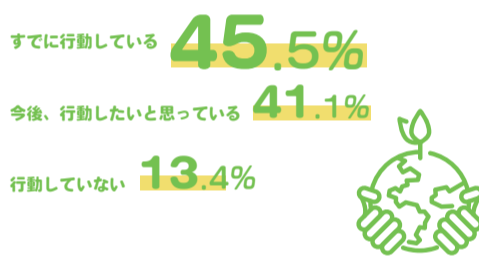
解決に向けた行動に関する意識

気候変動問題への関心は非常に高く、解決に向けた行動についても「すでに行動している（45.5%）」、「今後行動したいと思っている（41.1%）」と積極的であることがわかります。具体的な行動については、暮らしに身近な「消費行動」（脱プラやLED、省エネ等）で積極的に取り入れられているようです。一方、脱炭素に大きな貢献をする「エネルギーシフト」や、社会システムに変化を起こす「投票行動」などについては、消極的であることがわかりました。

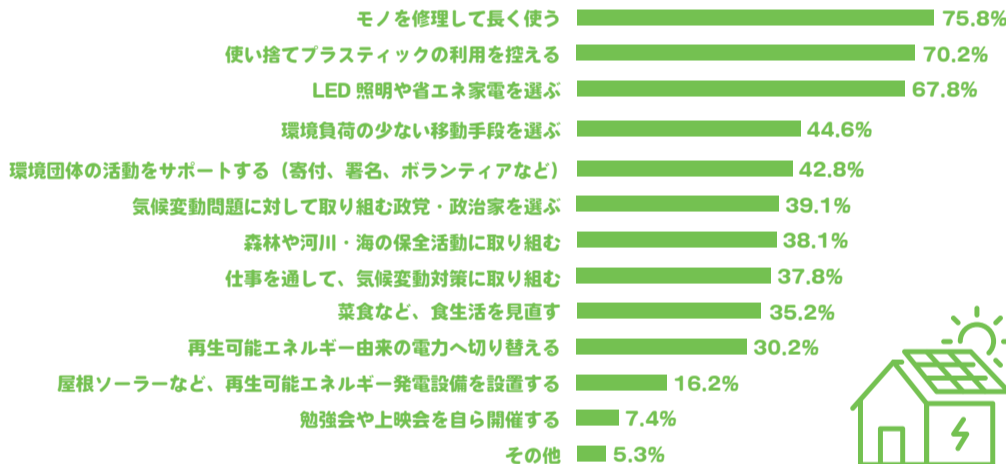
Q 気候変動問題への関心について、最も近いものを選んでください。



Q 気候変動問題の解決に向けた行動について、今のあなたの状況を教えてください。



Qすでに実践している具体的な行動を教えてください。



行政(国自治体の)取り組みに関する意識

多くの人が国の気候変動対策 / 方針について認識していることから、関心の高さが伺える一方、暮らしに身近な自治体の気候変動対策などについてはほとんど「知らない」ことがわかりました。

Q 日本政府は 2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」を目指すことを宣言しましたが、この事実を知っていますか？



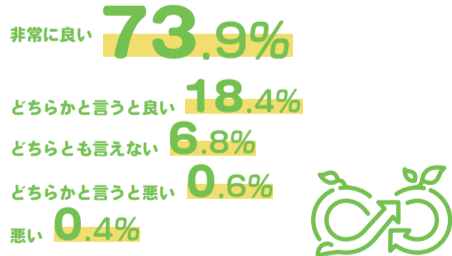
Q 自分が住んでいる地域、自治体の気候変動に対する方針や取り組みについて、どの程度知っていますか？



スキー場の取り組みに関する意識

多くの人が、気候変動対策に積極的に取り組むスキー場を高く評価し、そのようなスキー場を利用したいという意思を示しています。また、スキー場の取り組みに対してもさまざまなアイデアを持ち、サステナブルなスキー場を応援する土台が既にあることがわかります。

Q 再生可能エネルギーの導入など、気候変動対策に積極的に取り組むスキー場が国内外で増えていますが、そういったスキー場に対してどのような印象を持ちますか？



Q スキー場に期待する環境的な取り組みについて、教えてください。

*約930件の回答を類似するカテゴリごとに分類、その上位3カテゴリです。

スキー場内で利用する電力（リフト、降雪機、施設等）を

再生可能エネルギーへ切り替え

スキー場が実践するサステナブルな取り組みを積極的に

発信・啓蒙

スキー場内のプラスチックや使い捨て容器、ゴミの削減

調査方法

実施期間：3/1-3/31
有効回答者数：1,986名
性別：男性1,405名/女性558名
年齢：19歳以下:39名/20-29歳:227名/30-39歳:407名/40-49歳:775名/50-59歳:403名/60歳以上:130名
居住エリア：北海道：146名/東北：401名/関東：735名/中部:402名/近畿：146名/中国・四国：38名/九州・沖縄：20名/国外：8名
設問数：17問